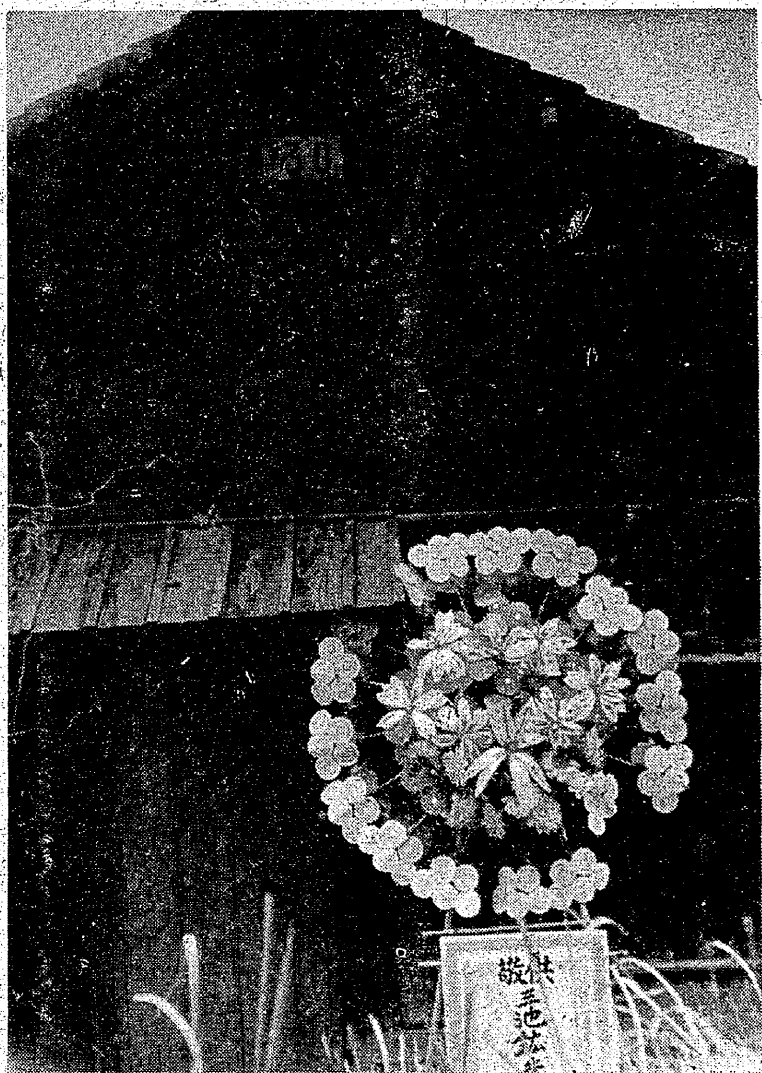




この花輪が何になろう!

一一・九に寄せる

三川 木村 守

短歌随想

ソーセイが尾の赤がさき
れたる肉塊にすく姿を交える

あまりにも大き過ぎた惨事。大
牟田・荒尾の両市民を一瞬奈落の

底に突きおとした大爆発は、日を
同じくして起きた鶴見駅での列車
事故と合致して、日本全土を走り
来る冬の寒を前に、凍てついてし
まう感に至らしめる。

狂走する救急車のサイレンは、
奈落の底から救いを求める悲鳴に
も似て、西に東に、南に北に、巨
大な何かがうなり声をあげるかの
ように、遠く近く闇の中で途切れ
ることなく響きあがっている。

斜坑道に水逆巻きて埋まりた

遺体は口に耳に眼に泥
嵐に吹き折られた巨大な湯水
管。あふる水は山津波の勢いか
道床をえぐり、軌条を洗い「も
う五分。うう」、地上に元気の姿
を見せるはずだった人々。悲惨に
も相果てて行った。

一点を照らし動かぬ懐灯の錯
綜と多く果てておりけり
寒絶。言葉を絶するにあまりあ
る遺体。
誰れに見せようとするの光景
虚空に突き出した握り拳が何かい
いかけるよう。

最後の瞬間をへたとと座りこ
んだ人。駆けられるだけ駆けなが
ら倒れた人。うつ伏せに仰向け、
維多利亞の傍で、消えぬ懐灯の

父の手が肩が恋しく眺み来て
光りが異様。

遺族の便り

三池縫製 平野ミヤ子

主人の七周年忌を前に、とうとう
肝臓・胆のうなど悪くして、入院
してしまいました。毎日の仕事の
無理が重なって、私は入院しまし
た。これも一番惜しいのは三井鉱山
です。

三井の手で主人が殺されたか
うたら……と思うと、いまでも時
々寝るをぬらす日もあります。
病室で一人ぼっちのとき、つ
まらぬ詩や川柳を作ってみまし
た。

三井は本心に憎い人
何人殺せば気がすむの
父さん殺され七周年忌
遺族はみんな泣いてくる
遺族はみんな泣いてくる
こんな三井がきらいなの
三井は本心に憎い人
何人殺せば気がすむの
父さん殺され七周年忌
遺族はみんな泣いてくる
遺族はみんな泣いてくる
こんな三井がきらいなの

「もうやめた」と、振りほどい
ても、しつこく挑み来る。「やめ
んか」。恐ろしく気付いた二人
の子。父を失ったもう幾年。今導
た父に似た感傷に、心ゆくまで遊
びたい。浸りたいのだ。ふっと淋
しい気持ちがよまる。

真綿の身に生きるとあれば容
赦なく定植のわが花苗を欲る
芽のうちには誰も見向きせず、捨て
るに惜しい日もらってくれる人を
探しては、渡していった、これだ
けはと定植。日が経って生植盛ん
に色づくを見るはうれし。そん
なのは、誰の眼にも美しいらし
い。

秋の運動会に、部落選手選衛に
集めた子供たち。一人の子が腕に
下がつて来る。と、次の子が背に
飛びかかる。
しばらくその子供たちをあしら
う。と、次第に彼らの挑戦が荒
い。疲れを知らぬ子供たちの、し
かも数人で飛び掛られては、長
くは続かない。

秋の運動会に、部落選手選衛に
集めた子供たち。一人の子が腕に
下がつて来る。と、次の子が背に
飛びかかる。
しばらくその子供たちをあしら
う。と、次第に彼らの挑戦が荒
い。疲れを知らぬ子供たちの、し
かも数人で飛び掛られては、長
くは続かない。

秋の運動会に、部落選手選衛に
集めた子供たち。一人の子が腕に
下がつて来る。と、次の子が背に
飛びかかる。
しばらくその子供たちをあしら
う。と、次第に彼らの挑戦が荒
い。疲れを知らぬ子供たちの、し
かも数人で飛び掛られては、長
くは続かない。

秋の運動会に、部落選手選衛に
集めた子供たち。一人の子が腕に
下がつて来る。と、次の子が背に
飛びかかる。
しばらくその子供たちをあしら
う。と、次第に彼らの挑戦が荒
い。疲れを知らぬ子供たちの、し
かも数人で飛び掛られては、長
くは続かない。

秋の運動会に、部落選手選衛に
集めた子供たち。一人の子が腕に
下がつて来る。と、次の子が背に
飛びかかる。
しばらくその子供たちをあしら
う。と、次第に彼らの挑戦が荒
い。疲れを知らぬ子供たちの、し
かも数人で飛び掛られては、長
くは続かない。

秋の運動会に、部落選手選衛に
集めた子供たち。一人の子が腕に
下がつて来る。と、次の子が背に
飛びかかる。
しばらくその子供たちをあしら
う。と、次第に彼らの挑戦が荒
い。疲れを知らぬ子供たちの、し
かも数人で飛び掛られては、長
くは続かない。

秋の運動会に、部落選手選衛に
集めた子供たち。一人の子が腕に
下がつて来る。と、次の子が背に
飛びかかる。
しばらくその子供たちをあしら
う。と、次第に彼らの挑戦が荒
い。疲れを知らぬ子供たちの、し
かも数人で飛び掛られては、長
くは続かない。

と挨拶したのは、爆発のほんの二
日程前だった。
三池が組が何回もたした保安団
交は、受け付けずじまいで四百五十
八名の大虐殺。畜生ッ!

10月2日、ゼミナル(参加人
数18名)の時間に映画「三池から
の報告」を観ました。

△この苦しいだろうけど、
生きてもらわねばならぬ。この
子が生きてゐるあいだは、会社は
CO患者はよくなったとはいえな
いし、あの三井鉱山爆発をもみ消
すことはできない。こんなにも凄
絶な宮島さんのお母さんの言葉を
面と向って聞いたら、僕はそのシ
ョックにまひるだろうと思いま
す。お母さんにとつてみたら「挫
折」なんてことはあり得べくもな
い。

僕たちのゼミは、社会政策学
の集まりですが、炭鉱について未
知の者がほとんどなので観覧後
の感想会では、そういう現実
場でも、もし自分が管理者(取締
りの意味でも)になったら「た
うする。か」ということではし
ない。インテリゲンチヤというロシ
ア語の本来の意味は、時の反動的
な支配権力とたたかう進歩的な知
識人のことであるが、就職の決り
かけた者たちが下級管理者「労働
者」準備として大学から出てい
く。昨今、日々の労働と生活との
たたかひのなかから学んでおられ
る、真に労働者の三池の労働者
の映画を見て、現実の改革を志同
していく、生きた学問の必要を感
じました。

たとは、労働災害の基本的原
因が機械の資本家的充用にあると
いう結論を引き出したとしても、
それだけでは学問とはいえない。
本場の学問は、真の加害者を殺人
傷害罪で告発すべきだろうし、ま
た、その闘争をやつていかなけれ
ばならないだろう。そのことをあ

三井は本心に憎い人
何人殺せば気がすむの
父さん殺され七周年忌
遺族はみんな泣いてくる
遺族はみんな泣いてくる
こんな三井がきらいなの

三井は本心に憎い人
何人殺せば気がすむの
父さん殺され七周年忌
遺族はみんな泣いてくる
遺族はみんな泣いてくる
こんな三井がきらいなの

三井は本心に憎い人
何人殺せば気がすむの
父さん殺され七周年忌
遺族はみんな泣いてくる
遺族はみんな泣いてくる
こんな三井がきらいなの

三井は本心に憎い人
何人殺せば気がすむの
父さん殺され七周年忌
遺族はみんな泣いてくる
遺族はみんな泣いてくる
こんな三井がきらいなの

投稿

「三池からの報告」を観て

前田 啓一郎

いし、あつたらそれは彼女の死を
意味するだろうし、最後まで生き
ていかなければならぬ。生活の
重みを、映画の随所で考えさせ
られました。

僕たちのゼミは、社会政策学
の集まりですが、炭鉱について未
知の者がほとんどなので観覧後
の感想会では、そういう現実
場でも、もし自分が管理者(取締
りの意味でも)になったら「た
うする。か」ということではし
ない。インテリゲンチヤというロシ
ア語の本来の意味は、時の反動的
な支配権力とたたかう進歩的な知
識人のことであるが、就職の決り
かけた者たちが下級管理者「労働
者」準備として大学から出てい
く。昨今、日々の労働と生活との
たたかひのなかから学んでおられ
る、真に労働者の三池の労働者
の映画を見て、現実の改革を志同
していく、生きた学問の必要を感
じました。

たとは、労働災害の基本的原
因が機械の資本家的充用にあると
いう結論を引き出したとしても、
それだけでは学問とはいえない。
本場の学問は、真の加害者を殺人
傷害罪で告発すべきだろうし、ま
た、その闘争をやつていかなけれ
ばならないだろう。そのことをあ

三井は本心に憎い人
何人殺せば気がすむの
父さん殺され七周年忌
遺族はみんな泣いてくる
遺族はみんな泣いてくる
こんな三井がきらいなの

三井は本心に憎い人
何人殺せば気がすむの
父さん殺され七周年忌
遺族はみんな泣いてくる
遺族はみんな泣いてくる
こんな三井がきらいなの

三井は本心に憎い人
何人殺せば気がすむの
父さん殺され七周年忌
遺族はみんな泣いてくる
遺族はみんな泣いてくる
こんな三井がきらいなの

からわかるように、三池からの
報告が僕たちに通じたことも確か
です。
最近「生命の炎」第9号で三池
の方々が「水俣病」患者の方たち
とともに手を携えてたかつてお
られると聞いてたいへん暗澹た
る気持ちのなかに何かすなわける
を感じます。

労働災害、産業災害(鉱害、公
害、交通災害など)、職業病でた
たかっけられる人々との結合が
今後発展していけたらよいと思
います。

現在、僕自身も二重、三重のア
ルバイトで生活費を捻出していか
なければならぬような状態でも
あるわけですが、「三池CO患者
を守る会」が「CO患者」と「遺
族」を守ることを通じて、この世
の中から一切の労働災害を無くす
日までたかうひとつの拠点であ
る以上、僕はそこに加盟して、学
び、運動をやつてゆきたいと思
います。

最後に、あの映画にでてくる一
人ひとりの「患者」「遺族」の方
々の声、あの地底に座りこんだ主
婦たちの訴える声と涙が、僕たち
を励ましていくことを言いたし
ます。

△筆者は法政大学社
会政策学専攻生▽

知らなかったのZD
自分の首をしめるって
むりやり強制にくだかれて
グループ長になりました
出勤向上めしたけど
仲間みんなアオいきよ
だから早く

知らなかったのZD
自分の首をしめるって
むりやり強制にくだかれて
グループ長になりました
出勤向上めしたけど
仲間みんなアオいきよ
だから早く

知らなかったのZD
自分の首をしめるって
むりやり強制にくだかれて
グループ長になりました
出勤向上めしたけど
仲間みんなアオいきよ
だから早く

知らなかったのZD
自分の首をしめるって
むりやり強制にくだかれて
グループ長になりました
出勤向上めしたけど
仲間みんなアオいきよ
だから早く